

公共施設マネジメント戦略会議・平成 29 年度第 1 回会議 議事概要

- 日 時：平成 29 年 11 月 13 日（月） 9：20～9：40
- 場 所：災害対策本部室
- 資 料：別添のとおり
- 出席者：市長（委員長）、永妻副市長（副委員長）、田中副市長（副委員長）
各部局長など委員 計 30 名（欠席 1 名）
- 内 容：<議題>
 - ・ファシリティマネジメントの推進方針について
 - ・追浜駅前地区再開発 公共施設検討部会の設置について

概 要

1 開 会

2 議 題

- 議題（1）「ファシリティマネジメントの推進方針について」
- （2）「追浜駅前地区再開発 公共施設検討部会の設置について」

事務局が資料に基づき内容を説明。説明の概要は以下のとおり。

<ファシリティマネジメントの推進方針について>

- ・平成 29 年 3 月に策定した公共施設等総合管理計画の、建物に関する個別計画として、新たに、「FM戦略プラン」及び「公共施設保全計画」の 2 つの計画を策定し、その計画に基づく取り組みを軸として、今後ファシリティマネジメントを推進していくこと。
- ・「FM戦略プラン」は、本市の公共施設の将来のあり方を示すとともに、10 年間程度を対象とした、施設の更新・再編のための計画であり、「公共施設保全計画」は、公共施設である建物の 10 年間程度の施設の長寿命化に向けた取り組みについての計画と考えている。
- ・これらを推進する体制として、「公共施設マネジメント戦略会議」を設置し、事務局を担う担当課として、現在の施設配置適正化担当から、(仮称) FM推進課を来年度から設けることを現在検討している。
- ・策定スケジュールは、今年度中に検討部会にてたたき台を作成し、30 年度には外部の有識者や公募市民などによる検討委員会に諮問し検討を重ね、その後、パブリックコメントを実施し、31 年度の上半期には、計画を策定したいと考えている。
- ・現段階で考えているプランを検討する手順は、現状分析の後、基本方針を検討し、集約統合のあり方や将来像を検討、その後、各地域における将来像は各地区単位の施設について、地図上に将来のあり方をプロットしたものを作成することを考えている。
- ・リーディングプランを検討する段階では、市民意見などを聴取しながら決めていくことを想定している。
- ・公共施設保全計画の策定については、現在、本市が所有している建物の情報を一元管理し、長寿命化を図るために必要となる維持保全の計画を策定する。
- ・今後のスケジュールは、一元管理のためのシステムを導入し、31 年度には計画策定を終えたいと考えている。

- ・ 推進体制の構築として、公共施設マネジメント戦略会議を設置する。FM戦略プランの策定に係るたたき台を庁内で検討するためにFM戦略プラン検討部会を設置する。

<追浜駅前地区再開発 公共施設検討部会の設置について>

- ・ 追浜地区の再開発事業について、平成 30 年度の都市計画決定目指し、事業計画の作成等に取り掛かる必要があるという段階である。
- ・ 追浜地域における公共施設の同再開発区域への移転などについて、現時点で検討を始める必要が生じているため、追浜駅前地区再開発 公共施設検討部会を設置する
- ・ 今後、具体的な設計等の段階となれば、施設の管理運営手法の検討等、様々な別の要素の検討も必要になるため、その際は、現状の検討部会のメンバー構成を変更する等の対応も必要になると考えている。

<質疑等>

- ・ 追浜駅前再開発公共施設検討部会について、商店街等も関わるため構成メンバーに経済部が入る必要があるのでは。
 - ・ ご意見のとおり経済部も入っていたほうが良いと考える。
- ⇒ 経済部を加えた形に資料を修正する。

議題（１）「ファシリティマネジメントの推進方針について」及び（２）「追浜駅前地区再開発 公共施設検討部会の設置について」は、一部修正の上決定する。

4 閉 会

以 上